

II 競技別実施要項

(6) ボクシング競技

1 期 日 令和6年7月6日(土)～7日(日)

<競技日程>

	エントリーチェック・ 監督会議・抽選 ・インテグリティ研修	健診計量	競技開始	開始式	閉会式
7月6日(土)	9:00	7:30(全員)	11:00	10:30	
7月7日(日)		7:30	10:00		競技終了後

2 会 場 釜石高等学校体育館(〒026-0055 釜石市甲子町10-614-1 TEL:0193-23-5317)

・監督会議 同上 視聴覚室

・健診計量 同上 ボクシング場

3 競技種別、参加人数、競技区分

種別	出場枠	競技区分
成年男子1部	1階級各市町村3名以内	個人戦(東北総スポ選手選考を兼ねる)、市町村対抗

※ 2部、マスボクシングの部については、出場枠は制限を設けない。

※ マスボクシングの部は、全日本マスボクシング大会代表選考を兼ねる

4 競技規定及び競技方法

(1) 競技規定 ア. (公社)日本ボクシング連盟競技規則を適用する。

イ. 階級は、LF～LH級までとする。(各階級体重枠は国スポ要項に準ずる。)

ウ. 競技時間は、1R2分とし、3R行う。

エ. 原則として、ヘッドガードはIBA検定品とし、ヘッドガードとユニホームはその試合時のコーナー色とする。(準備できない場合は検討するものとする。)

オ. マスボクシングの部は、(公社)日本ボクシング連盟マスボクシング規則を適用する。

カ. 演技の部は、岩手県ボクシング連盟申し合わせ事項による。

(2) 競技方法 ア. 全て個人戦とする。

イ. トーナメント方式で行い、優勝・準優勝・3位を決定する。

ウ. 各階級の参加者が4名を越える毎にA・B或いはCのブロックで競技を行う。

エ. 技量にともない、1部、2部、マスボクシングの部を実施する。東北総スポ選手選考、協会対抗は1部のみとする。

5 参加資格

(1) 岩手県民で練習開始後6ヶ月を経過し、競技できる十分なトレーニングをした者で、令和6年度日本ボクシング連盟登録選手であること。マスボクシングの部は、マスボクシング選手登録していること。実戦初大会出場者については事前に必ず選手手帳の実戦競技出場資格証明に記入し、証明を受けたものに限る。

(2) 選手は必ず年次健康診断とCTスキャン診断を受けて、健康であることを証明された者とし(マスボクシングの部、演技の部は不要だが、健康であること)、いずれかのスポーツ傷害保険等に加入すること。事故発生時の対応は応急措置のみとする。

(3) 参加する者は、平成18年4月1日以前に生まれた者であり年齢が40歳まで(マスボクシングの部、演技の部は上限を問わない)であること。その所属は、現住所または勤務地、出身高校の各ボクシング協会、いずれか1カ所とする。なお、学生の場合は、学校所在地または出身地、出身高校の各ボクシング協会いずれか1カ所とする。年齢計算基準令和6年4月1日とする。

6 成績採点方法

(1) 得点規定

各階級1位には5点、2位には3点、3位には1点をそれぞれ順位点として加点する。複数のブロックの場合、順位点はブロック数で等分し、小数点第2位を四捨五入した値とする。ただし、不戦1位(認定)は1点とする。また、1勝毎に勝ち点1点を加点する。同じ協会同士の対戦には勝ち点を与えない。さらに、認定となった選手を除き、選手はトーナメントの最初の試合の健診・計量をクリアしなければ順位を与えない。勝者が次の試合を欠場する場合は受付及び総合判定で申告することにより、健診・計量を受けなくても順位、得点を与える。本人が受付に来られない場合は代理人が申告する。

(2) 市町村順位決定方法

ア. 各市町村、各出場階級毎、最高点の選手のみ採用して算出し、その得点の合計点で決定する。

イ. 同点の場合は、1位の数による。

ウ. ア、イが同点の場合は、2位の数による。

エ. ア、イ、ウが同点の場合は、3位の数による。

オ. エで決定できない場合は、同位とする。

7 申込方法

(1) 申込期限 令和6年5月24日(金)必着。申込方法の詳細は、開催要項総則による。

(2) 競技種目申込書送付先 岩手県ボクシング連盟事務局

〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字道下100-1 水沢工業高校内 小池 彰 宛

TEL:080-5576-8968 FAX:0197-24-5156 携帯:080-5576-8968 Mail:ptf4-koike-akira@iwate-ed.jp

8 表 彰

各階級(各部、各ブロック)1位から3位まで賞状を授与する。市町村対抗は、優勝した市町村には優勝旗を、また1位から3位まで賞状を授与する。

9 連絡事項

(1) 申込について、開催要項総則をよく確認の上、下記のことを留意すること。

「参加・セカンド申込書」は各市町村体育スポーツ協会に提出すること。その際に取りまとめを円滑にするために写しを県連事務局宛に送付(FAX、メール可、できればデータ提出)すること。

申込時に、1部、2部、マスボクシングの部のうち、希望部を明記すること。

セカンドは、3名のうち、必ず県内有資格者(C級以上)1名、および所属責任者がつくこと。

セカンド申請書には、チーフ有資格者のみ記入すること。チーフセカンドは必ずインテグリティ研修に参加すること。保険加入の有無について、必ず確認して記入すること。

※ 健康申告書は、当日持参し7月6日の健診時に提出すること。

(2) 健康保険証を必ず持参すること。

(3) 少年種別「東北総スポ選手選考会」と併せて開催されるため、競技開始は少年種別終了後とする。

(4) 監督会議において、エントリーズチェック、抽選、また東北総スポ成年種別への出場確認を行う。各市町村チーム代表1名は必ず参加すること。監督会議 7月6日(土)9:00~ 釜石高校視聴覚室

※ エントリーズチェック:監督は、ユニフォーム、選手手帳を持参してチェックする、セカンド、保険加入については、口頭で再度確認する。(選手は、選手手帳を必ず携行すること)

※ 監督会議終了後、そのままインテグリティ研修を実施するので、チーフセカンドは、セカンド手帳を持って、参加すること。

(5) 7月6日(土)の健診計量は、抽選前のため、全選手参加すること。階級は計量時に確定するものとする。健診計量等の開始時間は、追って提示されるタイムスケジュールを確認すること。(マスボクシングの部は、健康チェックとして、体温、血圧のみとし計量不要、演技の部は健診計量不要)

(6) 宿泊について、希望する場合、宿泊料等、開催要項総則をよく確認の上、所定の申込書に必要事項を記入し、参加申込期限までに下記宛に申し込むこと。

申込先 〒026-0024 釜石市大町2-3-3 ホテルグランヒルズ釜石 新里 耕司 宛

Tel 0193-24-3311 Fax0193-24-3446

(7) 東北総スポ成年男子代表選手は、監督会議時に出場意志確認をし、代表選手案は、対戦内容を踏まえ、強化委員会で作成し、常任理事会で決定するものとする。

(8) カッププロテクター、競技用ヘッドガードは各自で手配、持参すること。

(9) 前年度の優勝協会は、優勝旗を持参すること。

(10) 頭髪などについては、「日本ボクシング連盟医事ハンドブック第5章(2)頭髪」の項を遵守のこと。

(11) ソフトコンタクトレンズを使用しての矯正視力は両眼とも0.4以上なければならない。使用する者は、健康申告書および選手手帳に明記すること。

※ 使用しない競技者は、裸眼で両眼とも0.1を超える視力でなければならない。

(12) 赤色またはそれに類するマウスピースは使用禁止である。

(13) 健診計量は、女子、UJ、国体選考、県民体、マスボクシングの順に実施する。

(14) 大会にかかる各種連絡、試合結果等、公式オープンチャットで連絡するものとする。

(15) 試合数によって、実施日程調整をする場合がある。

(16) 認定の場合、スパーリングを実施することがある。

10 問い合わせ先

岩手県ボクシング連盟事務局 〒023-0003 奥州市水沢佐倉河字道下100-1 水沢工業高校内

小池 彰 TEL:080-5576-8968 FAX:0197-24-5156

Mail:ptf4-koike-akira@iwate-ed.jp